

小須戸商工会景況調査報告書

組織番号 2 1

商工会名 小須戸商工会

報告者名 石沢晴彦

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 小須戸商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

- 平成28年7月～平成28年12月
(調査時点 平成28年12月1日)

(3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	3	10.0%	3	10.0%
建設業	9	30.0%	9	30.0%
卸・小売業	7	23.3%	7	23.3%
サービス業	11	36.7%	11	36.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内景況のコメントする

地域内は高齢化、後継不在による廃業が目立っている。地域内人口も減少しており総じて、経済活動は低迷している。

【後継者の状況】

後継者状況をコメントする

後継者不在との回答が多く、今後も廃業が続くと思われ、危機的状況である。

後継者 あり	6事業所	20.0%
後継者 なし	24事業所	80.0%

【売上高】

地区内事業者の売上に関するコメントする

半数以上の事業所がすべての項目で減少すると回答しており、厳しい状況が続くと見られる。

前年同期比

増加	不変	減少
7	4	19

前期比

増加	不変	減少
5	9	16

今後の見通し

増加	不変	減少
1	14	15

【採算】

地区内事業者の採算性についてコメントする

採算性については悪化から不変に移行している傾向が見られるが、もともと業績が低迷してる中での比較になるので、楽観はできない。

前年同期比

好転	不変	悪化
6	5	19

前期比

好転	不変	悪化
5	13	12

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	19	10

【仕入単価】

地区内事業者の仕入状況をコメントする

仕入れ状況についてはいずれの項目も不変との回答が一番多く、状況の変化は見られない。

前年同期比

上昇	不変	低下
2	26	2

前期比

上昇	不変	低下
1	28	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
0	30	0

【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする

客単価も、いずれの項目とも不変との回答が多く、変化は見られない。但し、比較するベースが落ちてきている中での不変なので、低迷が続いていると思われる。

前年同期比

上昇	不変	低下
0	27	3

前期比

上昇	不変	低下
0	28	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
0	28	2

【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする
 前年同期比では悪化との回答が一番多かったが、前期比、今後の見通しは不変との回答が多くなっている。資金繰りは多少改善してきていると思われる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	14	16	0	23	7	1	21	8

【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする
 小規模事業者を対象とする調査なので、従業員がいない事業所や、いたとしても1~5人程度の少人数なので、数値に表れていないと思われる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
0	30	0	0	30	0	0	30	0

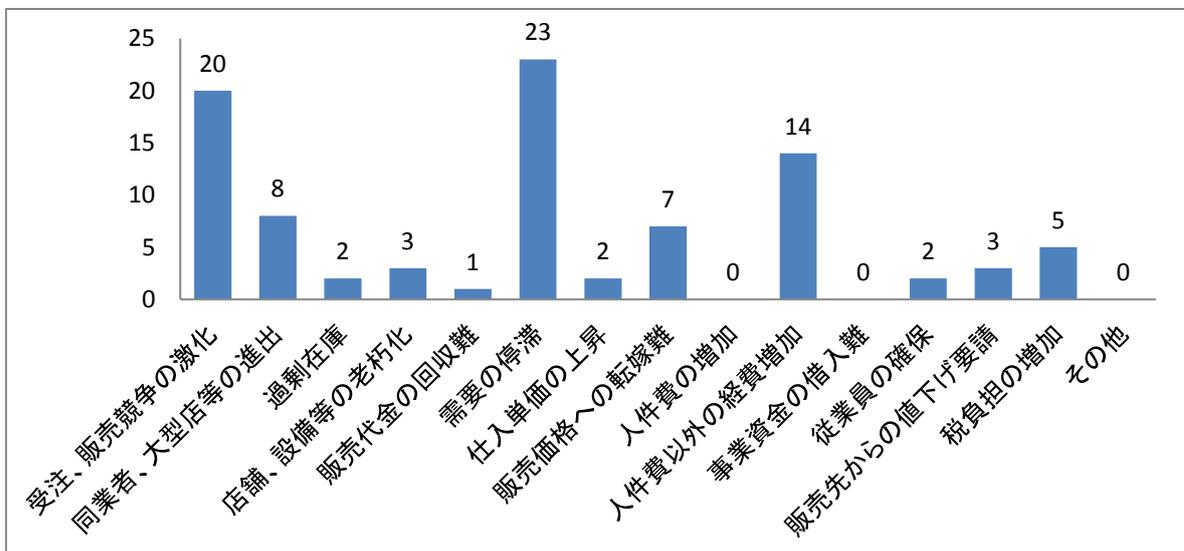
【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする
 不変や悪化と判断している事業所が多く、今後の見通しも悪化を予想する事業所が増加しており、地域内の景況については厳しいと判断される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	13	15	0	21	9	2	16	12

【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする
 需要の停滞、販売競争の激化、人件費以外の経費負担増を挙げる事業所が多く消費の低迷が経営に大きな影響を与えていると思われる。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

地区内製造業に係る景況状況をコメントする

製造業者は取引先の廃業などにより、売上、収益がともに減少する傾向にある。とはいえ、小規模であるため、新規取引先を開拓する余裕もなく、業績は停滞している。

(2) 建設業

地区内建設業に係る景況状況をコメントする

建築関係は地区内に新築物件が少なく、修理やリフォームなどの細かい仕事が多いため、厳しい経営環境が続いている。
土木関連業者は公共事業の減少の影響を受け、業績は低迷している。また、人材難も顕著になってきており、事業主、従業員とも高齢化傾向にあるが、新しい人材を求めてもなかなか人が集まらない。

(3) 卸・小売業

地区内卸、小売業に係る景況状況をコメントする

小須戸地域は車で10分程度のところに新津地区や白根地区の大型店があり、消費者の購買行動は流出型である。地域内の商店のお客様は高齢者が主である。この為お客様が施設へ入居したり、亡くなると直接お店の売上の減少につながる。厳しい状況は今後も続くと思われる。

(4) サービス業

地区内サービス業等に係る景況状況をコメントする

消費停滞の影響を一番受けやすい業種である。当地区でも売上、収益がともに減少傾向にある。飲食業、割烹・仕出し、理美容業など、やはり、高齢者を顧客としているお店が多く、苦戦している。

(様式③)

No.

景況調査ヒアリングシート（平成28年度）

調査対象期間 平成28年7月～12月

（調査時点 平成28年12月1日）

商工会名		商工会	担当職員名
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

（1）貴社の状況についてお答えください。（該当する番号に○を付してください。）

	前年同期（H27年7～12月）と比較して	前期（H28年1月～6月）と比較して	今期（H28年7～12月）と比較した来期（H29年1～6月）の見通し
売上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算（経常利益）	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕入単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売（客）単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇用動向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景況判断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

（2）貴社の経営上の問題点（下記より上位3つまでを選び、○を付してください。）

- ①受注、販売競争の激化 ②同業者、大型店等の進出 ③過剰在庫
④店舗、設備等の老朽化 ⑤販売代金の回収難 ⑥需要の停滞
⑦仕入単価の上昇 ⑧販売価格への転嫁難 ⑨人件費の増加
⑩人件費以外の経費増加 ⑪事業資金の借入難 ⑫従業員の確保
⑬販売先からの値下げ要請 ⑭税負担の増加
⑮その他（ ）

（3）今後の事業・経営において強化したい点（設備投資・販路開拓等）

--